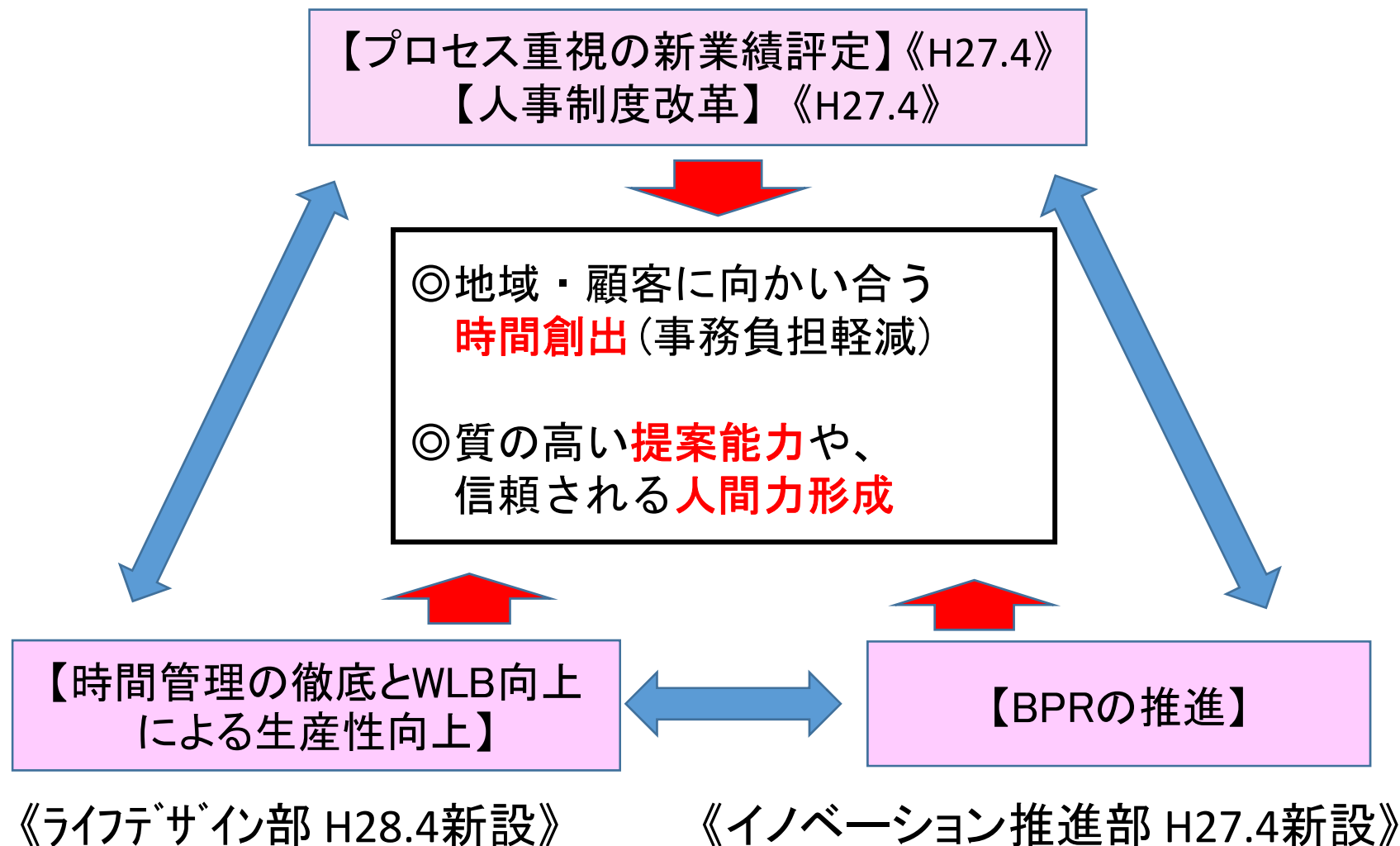


金融高度化セミナー「金融機関の働き方」

浜松信用金庫の働き方改革

平成30年 7月25日

はましんの長期ビジョンを担う改革3本セット



BPRの推進

【前提】

10年以上に及ぶ営業店事務の本部集中化

業務改革

1. 電子稟議
2. 窓口タブレット
3. ペーパーレス

ワークライフバランス向上の重要性

1. 時間管理の徹底とWLB向上による生産性向上
2. コミュニケーション・チームワーク向上
3. 業務の棚卸し・改廃
4. ワークライフバランス向上による積極的な自己啓発
5. 個々のスピードアップ
6. 女性活躍等、働き方の改革

プロセス重視の新業績評定

1. 計数中心の評価制度(金庫目線)から、顧客目線の評価制度へ
2. 自主目標の策定により、「受動的で考えない支店」から「能動的で考える支店」へ
3. 「お客様の喜び・繁栄・発展」が、
当金庫の「活力創出・持続的成長」に繋がる
4. 「プロセスの質評価」
～いいプロセスからいい成果まで～
5. 課題解決型営業、付加価値営業の追求
～いいプロセスからいい収益まで～

人事制度改革

1. 総合職コースへ1本化 ← 総合職と一般職の複線

※育児介護等時短希望者などは事務職コースを選択できる

2. 契約職員(40名)を正職員へ

3. 子育て支援の充実

- ・ 出産祝い金の増額
- ・ キッズサポート手当新設
- ・ 特別休暇の新設: 1歳未満の子供がいる職員は特別休暇3日間付与

4. 確定拠出年金制度(DC)の導入(給与切り出し)

* 60%超の職員が加入

定着化に向けた課題

H30.4～現状の課題

- ☆定時退庫については計画的・協動的に実施されており、多くの部店で定着している
- ☆一方、残業時間は前年同期・上期比で増加している部店が多い
 とは言え、H27年度と比べれば20%程度削減
- ☆磐田信用金庫との合併と言う大きなビッグイベントが控えている
 →合併に向けた各種業務・研修等の負荷増加が予想される
- ☆勤怠ルールの形骸化 → 意識・理解の継続

解消に向けて

- ☆「時間管理の徹底」「WLB向上」についての**正しい理解と意識の継続**
- ☆**人間力向上**への継続的な取組 → 実効性のある**自己啓発**
- ☆本来業務の**質・量及びチームワークの向上**

- 定着化に向けた課題 下記につき総意を形成 → 企業文化へ
- 【自ら考える・工夫する企業風土の醸成】
- 【納得感・モチベーションの共有】
- 【時間当たりの生産性向上(質・量)】
- 【改善・改革への意識・取組の継続】



大
変
身。
はましん

We must not be afraid of change.
【私たち浜松信用金庫は変わる事を恐れてはいけません】

今までの“はましん”とはちょっと違う。いや、ぜんっぜん違う！
この変わりっぷりにどうぞ、ご期待ください。
地域のために！

 浜松信用金庫